

建築物名称	丸富衛材株式会社第2工場
受付日	平成30年5月23日
建物所在地	富士市比奈字笠屋敷643-1、比奈字一町田664-1
構造規模等	鉄骨造／地上2階／延床面積4,400.12平方メートル／新築
建物用途区分	工場
建築主	丸富衛材株式会社 代表取締役社長 佐野武男
設計者	株式会社石井組一級建築士事務所 埜村光伸
工事完了予定日	平成30年12月31日

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	丸富衛材株式会社第2工場新築工事	階数	地上2F
建設地	富士市比奈643-1,664-1	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	3人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,208時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2018年5月15日
敷地面積	4,719㎡	作成者	埜村光伸
建築面積	3,110㎡	確認日	
延床面積	4,400㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超☆☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
0	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特になし	階高、のゆとりをもって計画を行った。	周囲の建物との調和に心がけた。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特になし	特になし	広告物照明等を行わず光害に考慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	丸富衛材株式会社第2工場	BEE	0.5	BEEランク	C	★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点		取組み度		評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	1.8	/5			がんばろう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5			がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.6	/5			がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.2	/5			がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	1.8	
	■室内環境対策 (①室温制御/②屋光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)	Q-1 2 3 2.1.2 ① Q-1 3 3 3.1.3 ② 3 3.2.1 ③ Q-2 2 3 2.2.1 ④ 3 2.2.2 ④ 3 2.2.3 ④ 3 2.2.4 ④ 3 2.2.5 ④ 3 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 屋光利用設備 ③ 屋光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 3 3 3	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨LED照明の採用。	LR-1 1 5 2 3 3 3 4 3 3	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)	LR-2 1 3 3 1.2.1 ⑪ 3 1.2.2 ⑪ 2 4 2.1.1 ⑫ 3 2.1.2 ⑫ 3 2.1.3 ⑫ 3 2.1.4 ⑫ 3 2.1.5 ⑫ 3 2.1.6 ⑫ 3 3 3 3.2.1 ⑬ 3 3.2.2 ⑬ 3 3.2.3 ⑬	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 1 3.3 2 2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	2.8	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 3 2.1.1 ⑯ 3 2.1.2 ⑯ 3 2.4.1 ⑰ 3 2.4.2 ⑰ 3 2.4.3 ⑰ 3 2.4.4 ⑰ 1 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)	得点	2.6	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高を、8m確保し、空間のゆとりをもたせている。	Q-2 1 3 1.1.3 ⑱⑲ 3 5 3.1.1 ⑳ 4 3.1.2 ⑳	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑳ 階高のゆとり ⑳ 空間の形状・自由さ	
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	1.2	
	■室外環境(敷地内)対策 (②生物環境の保全と創出/②まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 3 2 3 3 3	⑤ 生物環境の保全と創出 ② まちなみ・景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)	LR-3 2 2	⑬ 温熱環境悪化の改善	